

Sleep Buster

Mobile Edition

iOS

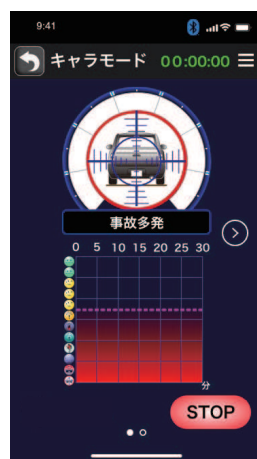
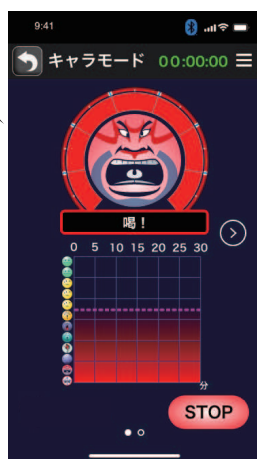
android



スマホが安全を見守ります。

スリープバスターは、急な体調の変化などによる重大な交通事故の低減に貢献し、ドライバーの安全な走行をサポートする装置です。運転座席にセンサーを装着し、運転者の疲労度合いを常時とらえ解析・判定し、集中力の低下や体調の急変（入眠予兆信号等）を画面と音で警告します。さらに、このデータを専用ソフト「ヒュータコ」に取り込むことで、運行時間内の運転手の緊張・集中・覚醒水準の低下や疲労度合いを分析できます。

急な体調の変化などによる重大な事故のリスクを低くするために、15種の判定画面で視覚に訴え、危険が迫ると警告音で刺激し覚醒誘導を促します。



⚠ ● 居眠りや事故の予兆を警告

眠気予兆の判定

切迫睡眠現象・瞬眠・過緊張など心身ともに無理をしている危険なときに警告します。

事故の恐れを判定

実際に起きた事故のデータに近似した生体信号を検出すると警告します。

📊 ● 体調・感覚マップモード

計測開始後約30分後から5分毎の体調や感覚の変化の流れをリアルタイムで表示します。

📍 ● GPSデータと連動

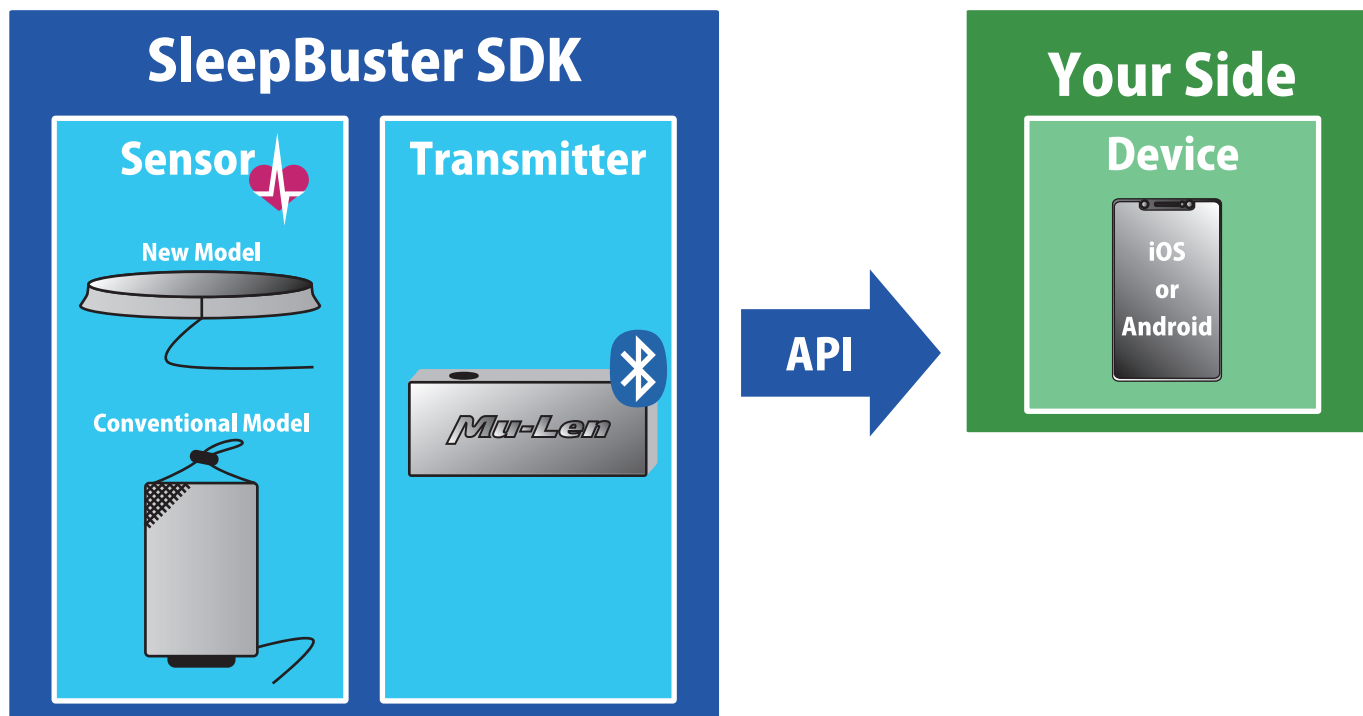
判定タイミングでのGPS情報を取得、保存。
※使用端末にGPSデータ取得機能があり、位置情報取得をONにする必要があります。

CSV ● 計測完了データを素早く共有※

オンラインストレージサービス (Dropbox) を利用し出先からでも計測完了データを共有できます。
※別途、使用端末の携帯通信サービスとの契約もしくはWi-Fiとの接続が必要となります。

【SleepBuster SDK】今冬リリース予定

HO-SRセンサ、HO-SRセンサ専用トランスミッタを使い、自社のスマホアプリやスマートウォッチアプリにドライバーの安全運転サポート機能を追加できます。



● SleepBuster SDKを使用したアプリ製作の一例 【自社アプリへSleepBusterの機能を組み込む】

- SleepBuster SDKの機能、出力
- ・ HO-SRセンサ専用トランスミッタとのI/F
- ・ 18秒毎の、ドライバーの疲労度合いや集中力の低下具合、体調の急変（入眠予兆など）の結果
- ・ 計測時間約30分後からの、5分毎の体調・感覚の変化の様子

組み込み

自社アプリ

● SleepBusterをカスタマイズ

- ・ スマホなどに内蔵された各種センサーデータとの連携（加速度、GPS、カメラなど）
 - ・ オリジナル警告システムの構築
 - ・ 自社UIでの構築
- ※SleepBusterのUI、音データの提供は行ないません。

●仕様

【HO-SRセンサ専用トランスミッタ】

- 入力定格 DC5V/3mA
- 内蔵電池 無し
- 無線通信機能 Bluetooth® 5.0 Low Energy
- 使用環境 -30°C~70°C
- 本体サイズ 59(W)×26(D)×16.5(H)mm
- 重量 17g

001-A14188

【HO-SRセンサー】

- 入力定格 DC5V/0.8mA
- 内蔵電源 無し
- 使用環境 -30°C~70°C
- 材質 センサーカバー：ポリエステル、ポリウレタン

センサーユニット：ポリエステル、ポリエチレン

- HO-SRセンサ/HO-SRセンサ専用トランスミッタ
コンソールBOXなどのUSBポートから電源へ接続するだけです。



本紙に記載されている仕様は、全て2022年12月時点のものです。仕様は予告なく変更になる場合がございますので、最新の仕様については販売店へお問い合わせください。

・ 開発 / 製造元
株式会社デルタツーリング
〒736-0084 広島県広島市安芸区矢野新町 1-2-10
tel:080-8980-1516
mail:home-mulen@deltatooling.co.jp

・ 販売店
〒206-8551 東京都多摩市鶴牧2-11-1
JUKIプロサーブ株式会社
事業開発部 事業開発グループ
TEL:042-357-2284 FAX:042-357-2560
URL:<https://www.juki-ps.co.jp/>